学校だより　10月号

相模原市立二本松小学校
2024.9.30　No.8

にほんまつ

「かしこさ」
「やさしさ」
「たくましさ」

松っ子ブログ

「　協力　」の公式

校長　松浦　隆志

「協力」の「協」とは、「力をあわせる」を意味する漢字です。「あわせる」と聞くと「たし算」を思い浮かべますが、「協力」の大きさは一人一人の「力」の「かけ算」であると考えています。　かけ算は不思議なもので、「１」を幾らかけても、答えは「１」のままです。つまり自分一人のことを考えて行動しているうちは、一人一人が「１００％の力」である「１」を出し切ったところで、「協力」の大きさは「１」のままです。（図１参照）

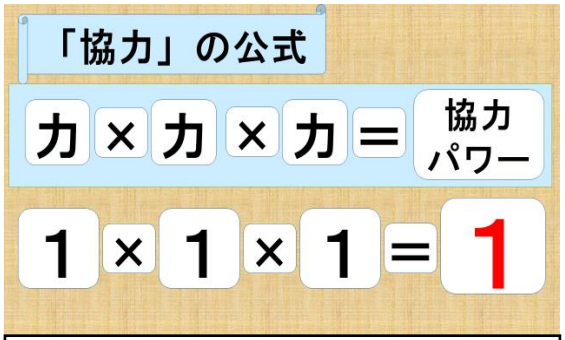

図１　「協力」の公式

一人一人の「力」を「１」よりも大きくしていくためには、「相手のことを考える」「周りの人のことを考える」こと、つまり「おもいやり」が大切であると考えています。一人一人が、自分のことだけではなく、周りの人のことを考えて行動すれば、「協力」の大きさは無限大に広がっていくはずです。

二本松小で子どもたちが既に取り組んでいることも、そうした意識で取り組むことで、「おもいやり」があふれるものに変わっていきます。

二本松小学校の子どもたちは、既に日常の生活の中でこの「おもいやり」を大切にして行動を始めています。「あいさつ」も「聴く」ことについても相手を意識して、目を合わせたり、反応をしたりしてできるようになってきています。

いよいよ運動会に向けての取り組みが本格的に開始しました。自分のことだけではなく、相手の気持ちを考えながら「考動」することで、「おもいやり」の気持ちを育み、より一層成長していく機会にしていきたいと考えています。